



インフルエンザ
対 策

京都府丹後保健所 HP バナー

No.29

インフルエンザ NEWS

編集／発行 **京都府丹後保健所**
(丹後広域振興局健康福祉部)
保健室 感染症・難病担当
〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855
TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368
www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

丹後保健所

検索

もくじ

- 集団感染を防ごう、流行状況 …………… ①
- インフルエンザにかかったら、豆知識(マスク) …… ①
- インフルエンザの合併症、再受診 …………… ②
- 鳥インフルエンザ訓練を実施 …………… ②

*** 集団感染を防ごう ***

年末からノロウイルスによる集団感染事例がたくさん報道されているところですが、インフルエンザについても流行期に入り、今後注意が必要です。

抗インフルエンザ薬を治療だけでなく予防薬として使用することで、集団感染を予防できると日本感染症学会が、昨年8月に提言をまとめました。

病院や高齢者施設内では、従来の感染予防策に加えて、患者発生時は抗インフルエンザ薬を効果的に使うことで、集団感染を防いでいくことが提案されています。

インフルエンザ 流行状況

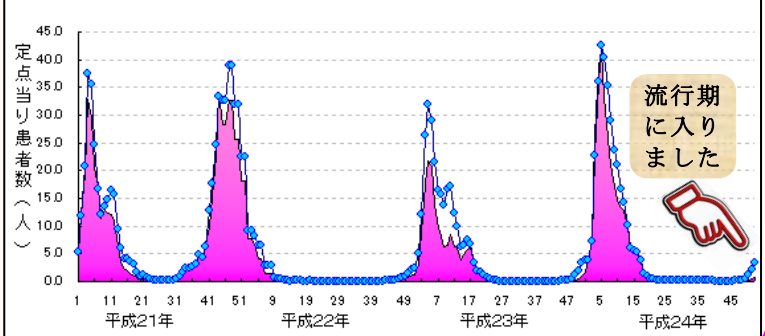
2012-13

厚生労働省は、12月21日に全国約5千の医療機関から10日～16日までの1週間(第50週)に報告された患者数が5,789人にのぼり、1施設あたり1.17人と目安の1.0人を超え、「**インフルエンザの流行期**に入った」と発表しました。

丹後管内も12月24日の週(第52週)に、1.0人を越え、流行期に入りました。ピークは1月中旬～下旬と予想されます。

京都府感染症発生動向調査

インフルエンザ(平成24年52週現在)



インフルエンザにかかったら…

患者が
すること

- 安静、水分補給、十分な睡眠、消化が良く栄養のある食事
- マスクの着用、手洗い
- 抗インフルエンザ薬の服用 ……など

看護者が
すること

- こまめな換気、適度な湿度(60%位)
- マスクの着用、手洗い、うがい
- 患者と部屋を分ける
- ドアノブやスイッチなどのアルコール消毒 ……など



ソナウレ君

発熱などの症状がでた**翌日**から**5日目**または、**熱が下がってから2日目**までは、できるだけ外出しないようにしてください。

※症状が長引く場合は、かかりつけ医の先生に御相談ください。

豆知識

マスクの種類と機能

大きく分けて、**不織布製マスク**と**ガーゼマスク**があります。

ガーゼマスクはフィルター性能が不十分であり、インフルエンザのように咳やくしゃみなどの症状がある場合は、ウイルスの飛散を防ぐために、不織布製マスクが有効です。

しかし、顔に隙間なく着用することは難しいため、空気中のウイルスを完全に遮断することは不可能です。うがい等他の予防策と併せて実施しましょう。

インフルエンザの合併症

インフルエンザが重症化すると、小児では「インフルエンザ脳症」、高齢者では「二次性細菌性肺炎」などの合併症を発症する可能性があるため、注意が必要です。

インフルエンザ脳症は、発熱中に意識障害やけいれん、嘔吐、頭痛、異常行動・言動などが現れ、最悪の場合は脳障害の進行や多臓器不全をもたらすこともあり、5歳以下、特に1～2歳の発症が多く、年間100～300人が発症しています。

身体機能の低下した高齢者では、インフルエンザの感染によりさらに抵抗力が低下し、細菌に感染しやすくなります。高齢者の死因の多くは肺炎ですので、重症化させないためにワクチン接種を行いましょう。

こんな症状が出たら再度受診しましょう！

- 手足を突っ張る、がくがくする、目が上を向くなど、けいれんの症状がある。
- ぼんやりしていて視線が合わない、呼びかけに答えない、眠ってばかりいるなど、意識障害の症状がある。
- 意味不明なことを言う、走り回るなど、いつもと違う異常な言動がある。
- 顔色が悪い（土気色、青白い）。唇が紫色をしている（チアノーゼ）。
- 呼吸が速く（1分間に60回以上）、息苦しそうにしている。
- ゼーゼーする、肩で呼吸をする、全身を使って呼吸をするといった症状がある。
- 「呼吸が苦しい」、「胸が痛い」と訴える。
- 水分が取れず、半日以上おしっこが出ていない。
- 嘔吐や下痢が頻回に見られる。
- 元気がなく、ぐったりしている。

・・・など

時々様子を見るのが大切なんだね。



ソナウレ君

厚生労働省 日本小児科学会

鳥インフルエンザ訓練を実施しました

昨年12月5日、丹後地域で高病原性鳥インフルエンザが発生した場合を想定し、管内の市町や警察等、各関係機関の参加のもと、丹後家畜保健衛生所、碓高原牧場、丹後広域振興局等の職員による訓練を実施しました。

当日は午前9時に異常家きん発生の情報伝達から始まり、スターターチームの出動、防疫作業員の健康チェックや防護服の着脱訓練、車両消毒演習など、1日かけての訓練となりました。

振興局内各部と家畜保健衛生所、関係機関が、実際の作業を同時に実施してみることで、それぞれにうまくいった点や課題、各部門で連絡調整が必要な事項が明確になりました。今後も万一の発生に備え、体制づくりを進めるとともに訓練を重ねていく予定です。

補 足

鳥インフルエンザウイルスは鳥との濃厚接触により人に感染する危険性があり、感染すると重篤なウイルス性肺炎を発症し、高い致死率が予想されます。世界では多数報告されており、ウイルスを国内へ持ち込まない事が重要です。また、変異により人から人へ感染するようになれば、パンデミック(世界的大流行)が起こる可能性があります。



防護服着脱手順の説明



作業前の健康チェック



前線基地での訓練

